



中部大学春日丘高校 SGH課題研究

ワールド・コラボ・フェスタ2016

● ワールド・コラボ・フェスタ 2016 に参加しました。

- ◆ 開催日時
平成28年 10月 22日(土)
- ◆ 開催場所
名古屋 栄 オアシス21
- ◆ 参加生徒
国際コース 2年



● ワールド・コラボ・フェスタとは？

中部地域の国際交流・国際協力・多文化共生の活動を広げ、市民、NGO・NPO、企業、行政が協力して「学び、考え、行動する場」をつくりあげるイベントです。

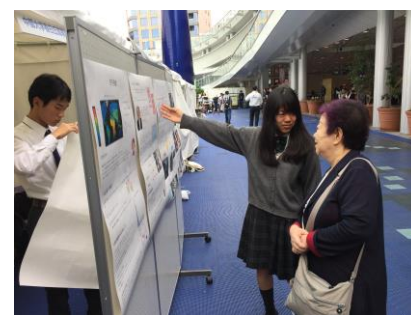
本校生徒は昨年に引き続き 2年目の出展となりました。

● 本校生徒による出展

昨年はフィールドワークを中心とした生徒たちですが、今年は 1年間グローバル課題研究でテーマを考え、調べてきたことについて発表することを中心としました。

待っていてもお客様は来てくれないので、チームで力を合わせ聞いてくれるお客様を集めることからスタートし、ドキドキしながら来場者に声をかけ、各チームがお客様に自分たちの研究の成果を発表することができました。発表を聞いた方々からは感想や質問が寄せられ、生徒たちは自分の学びが認められて喜んだり、質問に答えられず悔しい思いをしたりしました。人に伝えることにより、新しい情報を得ることができ、今後の研究に活かされることが多かったようで、大変貴重な機会となりました。

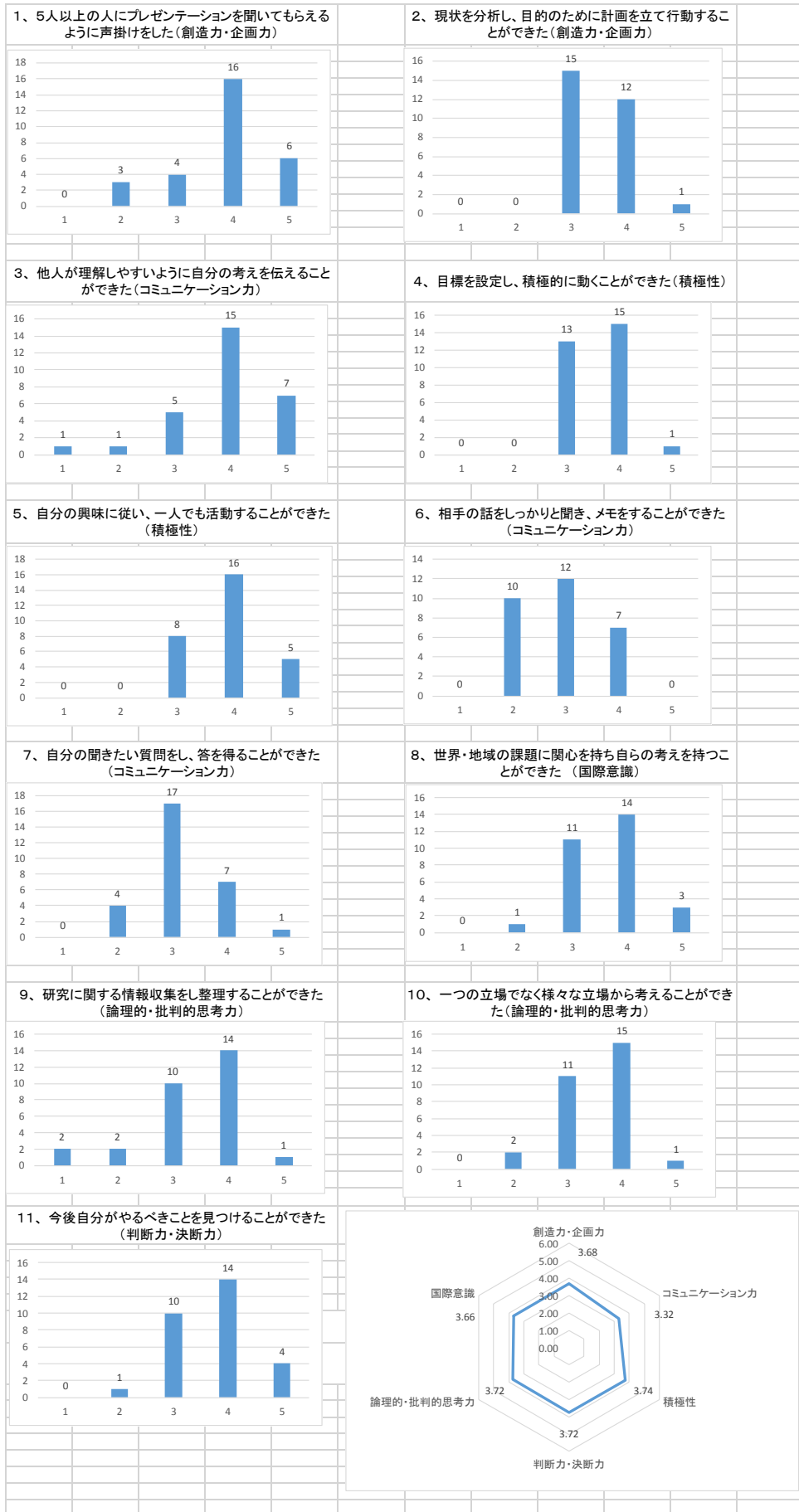
また、プレゼン能力・コミュニケーション能力をもっと高めたいという意欲にも繋がったようでした。



● フィールドワーク

ワールド・コラボ・フェスタには、多くの団体が出展しており、生徒は発表以外の時間でブースをまわり、研究について調査をすることにしました。生徒のテーマや地域に関わる団体も多く、新しい情報を得ることができ、研究の楽しさも感じる事ができた様子でした。

平成 28 年フィールドワーク自己評価アンケート集計
 (対象:国際コース 2 年 29 名 実施場所:ワールドコラボフェスタ 方法:5 段階自己評価)



● アンケート結果より

研究テーマに関するブースがなかった生徒もあり、情報収集ができなかったなど、コミュニケーション力に課題が残るものの、おおむね平均3.6以上の自己評価でした。昨年に比べて、自分のテーマをしっかり持ち目的をはっきりさせていた分、楽観的ではなく厳しい自己採点になっています。研究が終わり、論文が書きあがるころには、自信を持って自己評価できるような気持ちも持ってほしいと思います。一方で、これまで個人研究を進めてきたこともあり、昨年課題となった「自分の興味に従い一人で行動することができた」の数値が上がっています。これまでできなかったことが、SGH課題研究の授業を通し、着実にできるようになっていることが感じられる結果となりました。

● 生徒感想(抜粋)

- ・質問されてうまく答えられなかったことは持ち帰って調べたい。
- ・他のブースで色々な話を聞いて自分のテーマと関係するかどのように生かせるかクリティカルシンキングが大切だと思った。
- ・プレゼンに来てくださった人たちの中に同じ支援について調べている人がいて、交流できたのでよかった。
- ・自分のテーマについてプレゼンテーションを行ってみて、自分の行っている活動をほめてもらったり、アドバイスをもらったりして、今後の活動の見通しができたのでよかったです。